

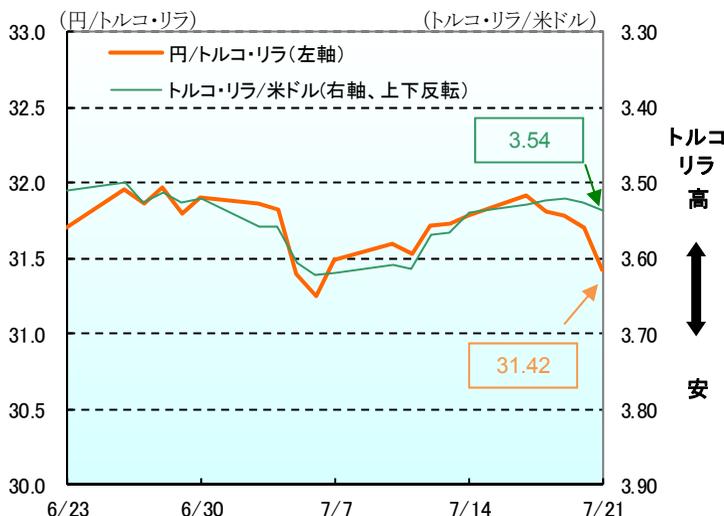
トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2017年7月15日～2017年7月21日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通してみると対米ドルではほぼ横ばい、対円では下落となりました。またトルコの2年国債金利については、小幅な金利上昇となりました。19日にユルドゥラム首相は内閣改造を発表しました。市場からの信認が厚い、経済担当のシェムシェキ副首相の処遇が注目されていましたが、外務、財務、運輸などの主要閣僚と同様に留任となりました。トルコ・リラは特段の材料が無い中、対米ドルで横ばい、円高の進展を受けて対円では下落しました。またトルコの2年国債金利は小幅な値動きでの推移にとどまりました。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年6月23日～2017年7月21日)



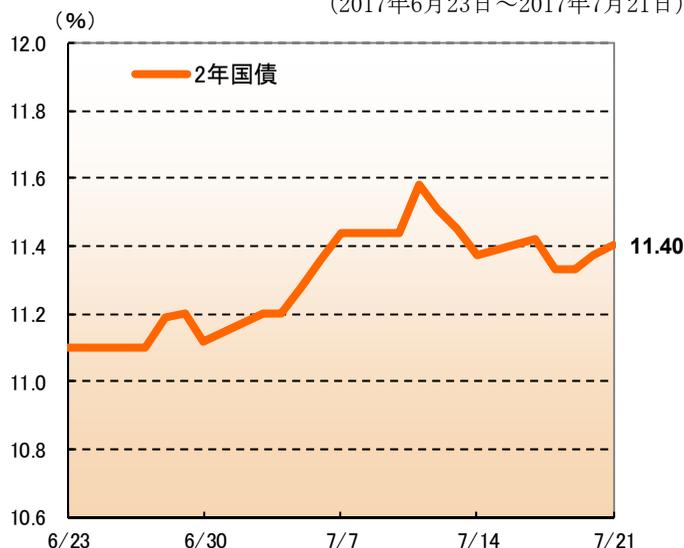
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週は27日に金融政策委員会の開催が予定されています。前年同月比でみたインフレ率は鈍化傾向となっていますが、依然として2桁台となっていることなどから、中央銀行は現状の金融政策を据え置くと予想します。事前の市場予想でも後期流動性貸出金利を含め主要な政策金利の据え置きが見込まれています。またサウジアラビアなどとカタールの緊張緩和に向けてエルドアン大統領が仲裁に乗り出していますが、依然として突然の地政学リスクの高まりには注意が必要だと考えます。

【トルコ 金利推移】

(2017年6月23日～2017年7月21日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>